2023年度 埼 玉 県 立 大 学

専門職連携を学ぶ講座

募集要項



個々の講座において、修了要件を満たした方に修了書を発行します。

さらに、2年以内に「専門職連携を学ぶ講座」の複数の講座を受講し、合計 60 時間以上の講座を受講した方には、文部科学省が認定する「履修証明プログラム」としての履修証明書を発行します。

※詳細は、募集要項 P.5 でご確認ください。

1. 2023 年度「専門職連携を学ぶ講座」 開講スケジュール

講座番号	2023-A	講座名	多職種のための チームビルディング研修		開催 方法	対面
申	込期間		開講日時	総時間数※	受	講料
5月10E ~5月29			日(日)10:00~17:00 日(日)10:00~17:00	16時間	6, 0	円000円

講座番号	2023-B	講座名	ファシリテータ研修		開催 方法	対面
申	込期間		開講日時	総時間数※	受	講料
5月17E ~6月5E			日(±) 9:30~16:30 日(±) 9:30~16:30 日(±) 9:30~16:30	24時間	8, (円000円

講座番号	2023-C	講座名	IPW を促進する F-SOAIP* (*エフソ・アイピー:生活支援		開催 方法	対面
申	込期間		開講日時	総時間数※	受記	冓料
6月14E ~7月3E		8月27	日(土)10:00~17:00 日(日)13:00~17:30 日(土•祝)13:00~17:30	20 時間	7, 0	00円

講座番号	2023-D	講座名	多職種チームによる実践事例]研修	開催 方法	対面
申	込期間		開講日時	総時間数※	受	講料
8月23E ~9月11		10月2	1日(日)10:00~17:00 2日(日)10:00~17:00 2日(日)10:00~17:00	24時間	8, (000円

講座番号	2023-E	講座名	多職種チームによる実地実習 (専門職連携実習:IPW9	_		オンライン及び 11/25 のみ対面
申	込期間		開講日時	総時	間数※	受講料
9月20E ~10月1	3(水) 1 0日(火)	11月1	28日(土) 9:00~16:00 1日(土) 9:00~16:00 25日(土) 9:00~16:00	24	時間	8,000円

- 注 1. 「2023-B」と「2023-C」は日程重複のため、同時受講できません。
- 注 2. 天候や社会情勢等を踏まえて、開催方法を変更する場合があります。
- ※ 総時間数は、実施時間 45 分の他、自己学習時間 15 分を踏まえ、1 時間と換算しています。

~専門職連携と多職種連携~

埼玉県立大学は、全国に先駆けて IPE (Interprofessional Education) に取り組んできました。本学は、IPW (Interprofessional Work) を日本で初めて翻訳し、「専門職連携」としました。今回は学外の方を対象とした講座名称等として、現場で多く使用されている「多職種連携」を使用しています。

2. 受講対象者:

各講座の全日程(2日間もしくは3日間)を受講できる方で、以下に該当する方

- ●専門職連携について学びたい方
- ●専門職としてのキャリアアップや新たな知見の習得、IPW の実践を目指す社会人の方 ※受講者の職種や勤務年数など問いません。

3. 定員:

各講座とも20名

4. 開催方法及び開催場所:

◎講座番号 2023-A~2023-D の講座:

全日程、会場での対面開催

会場:埼玉県立大学

所在地: **〒**343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地

アクセス:東武スカイツリーライン「せんげん台駅」西口から

バス5分(徒歩20分)

◎講座番号 2023-E の講座:

10月28日(土)及び11月11日(土):オンライン開催

11月25日(土):会場での対面開催

会場:埼玉県立大学サテライトキャンパス(埼玉県立小児医療センター8F)

所在地: 〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1番地 2 アクセス: JR 京浜東北線・宇都宮線・高崎線 さいたま新都心駅から

徒歩5分

- ※ 受講方法や会場の詳細は、受講者に別途通知します。
- ※ 2023年4月末現在、対面開催の講座では、参加者の皆様にマスクの着用をお願いしています。

5. 申込方法

各講座の申込期間に、埼玉県立大学のホームページにあるWEBフォームより、お申込みください。 なお、都合により申込をキャンセルする場合には、 速やかに本学へご連絡ください。



埼玉県立大学・専門職連携を学ぶ講座



専門職連携を学ぶ講座ホームページ

講座案内メーリングリストへの登録

本履修証明プログラムの各講座を含めて、本学で開催される専門職向けの 各種講座情報等のお知らせや申込期間をタイムリーにダイレクトメールで お届けするメーリングリストを作成しています。是非ご登録ください。 (希望者)



お申込み時に登録された個人情報は、埼玉県立大学の「個人情報の取り扱い(プライ バシーポリシー)」に基づき、本学地域産学連携センターからのお知らせにのみ使用 します。

メーリングリスト 登録フォーム

6. 受講決定

各講座の開催2週間前までに、受講に関する通知を申込時に記載いただいたメールアドレス宛にお送りします。受講日10日前までに、受講に関する通知が届かない場合には、お手数ですが本学までお問い合わせください。

定員を上回る応募があった場合には、抽選により受講者を決定することがあります。

7. 受講料振込

受講決定通知に記載する振込先に、受講する講座の受講料をお振込みください。

振込期間は、受講決定後~受講日3日前までです。

所定の期間内に振込が確認できない場合には、受講をお断りする場合があります。また、<u>受講</u>料振込後、受講者の都合による返金には応じませんので、予めご了承ください。

8. 事前準備、持ち物など

終日実施する講座については、昼食をご持参ください。学生食堂は営業しておりません。対面 開催の講座では、参加者の皆様にマスクの着用をお願いしています。

事前準備は P.6 以降のシラバスをください。この他、事前準備・持ち物等がある場合には、各講座の受講決定通知でお知らせします。

9. 修了証の発行

各講座の修了要件を満たした方に対して、修了証を発行します。

なお、専門職連携を学ぶ講座の各講座は、「主任介護専門員更新研修(埼玉県)の法定外研修」および「日本作業療法士協会 生涯学教育制度」の単位やポイントとなります。単位やポイントの付与に必要な修了証は、通常の修了証と様式が異なるため、希望の有無、発行に必要な情報を別途伺います。

10、履修証明プログラム

埼玉県立大学が実施する「専門職連携を学ぶ講座」は、履修証明プログラム(*1)として文部科学省に認定されています。

下記の交付要件を満たす方に履修証明書を発行いたしますので、希望される方はお申し出くだ さい。申請方法は別途お知らせします。

履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」について

プログラムの目的及び内容

1)目的

患者・利用者中心のヒューマンケアマインドに基づいて、患者・利用者と共に質の高いケアに向けた専門職連携実践(IPW)及び専門職連携教育(IPE)を円滑に推進できる保健・医療・福祉実践現場の人材育成に寄与する。

2)内容(編成方針等)

IPW/IPE に関連する理論を背景にチームビルディング、ファシリテーション、生活支援記録法の知識、技術、それらを応用した IPW 事例検討、IPW 実地実習における実践的能力について、段階的または自己研鑽・強化したい内容を選択して IPW/IPE に必要な基礎・実践的能力を学修する。

3)修了後に身に付く能力

患者・利用者中心のヒューマンケアマインドに基づいて、患者・利用者とともに質の高いケアに向けた IPW/IPE を円滑に推進できる基礎知識・技術及び、実践的能力を身に付ける。

4) 履修証明を行う社会的な意義

近年、日本の急速な少子高齢化、人口減少、家族形態(世帯)の変化、地域支え合いの衰退等は、経済・社会の存続の危機に直結し、現代社会で暮らす人々の生活に深刻な「生活のしづらさ」を増幅させている。人々の健康的な生活を支える保健・医療・福祉等の多様な背景にもつ専門職者が、お互いの専門性の違いを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、目標を共有し、共に力を合わせて活動できる IPW/IPE 能力の醸成は、患者・利用者への質の高いケアを提供するために必要不可欠なものとして求められている。

履修証明書 交付要件

- ①「専門職連携を学ぶ講座」の異なる講座を2年以内に複数受講し、合計時間数 60 時間以上を修了した方
- ②埼玉県立大学学則第54条(*2)に定める入学資格を満たす方
- *1 履修証明プログラムとは、学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書を交付するものです。なお、学位が授与されるものではありません。
- *2 第54条 本学学部に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- ー 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した 者
- 五 文部科学大臣の指定した者
- 六 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- 七 その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

専門職連携を学ぶ講座 シラバス

講座番号	2023-A		
個別講座名	多職種のためのチ	ームビルディング研修	
担当教員	O善生まり子、山	本英子、井上和久、柴田貴美子、佐藤玲子	
開講日時	第1回:6月18日	日(日)10:00~17:00	
	第2回:7月 21	日(日)10:00~17:00	
総時間数	16 時間 (6 時間>	〈2日間)	
	*1時間=45%	分間(実質の受講時間)+15分間(自己学習)	
講座概要	多職種チームの力を	を発揮してヒューマンケアに取り組むために、多	職種連携とは何か、
	チームとは何か、	チームワークの考え方を理解し、チームの活性化	に必要な対話スキル
	を体験的に学ぶ。	その対話スキルを活かして、互いの専門性を語り	合い、自身とチーム
	を俯瞰する力を身に	こ付け、職場チームビルディングへ貢献できるカ	を養う。
	*各内容について、	, 講義、演習 (グループワーク)、振り返り (リフ	レクション)で構成
	されています。演習	習では各チームにファシリテータ 1 名を配置して	サポートします。
到達目標	(1)職場チームを振	り返り、受講目的を宣言できる	
	(2)多職種連携が求	められる社会的背景とチームの考え方を理解でき	きる
	(3)チームビルディ	ングに必要な対話スキルを体得できる	
	(4)チーム活動のリ	フレクションを通じて自身とチームを俯瞰できる	3
	(5)多職種チームの)力を発揮してヒューマンケアに取り組むために、	、受講者間で互いの
		お互いから学び合うことができる	
	(6)わたしの職場の	チームビルディングについて表現できる	
講義内容			
	ll 開講日	講座内容	講座方法
及び方法	開講日	講座内容 1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的	講座方法 • 講義
	第1回	1)職場チームの振り返りとわたしの受講目的	• 講義
	第1回 6月18日(日)	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの	講義演習
	第1回 6月18日(日) ※対面	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景	講義演習
	第1回 6月18日(日)	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ	・講義 ・演習 (グループワーク) ・振り返り
	第1回 6月18日(日) ※対面	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル	・講義 ・演習 (グループワーク) ・振り返り
	第1回 6月18日(日) ※対面	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化	・講義 ・演習 (グループワーク) ・振り返り
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い	 講義 演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケ	 講義 演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日)	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケ アに取り組むとは	 講義 ・演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日) ※対面	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケ アに取り組むとは 2) レクリエーションゲームを通してチームビ	 講義 ・演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日)	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケ アに取り組むとは 2) レクリエーションゲームを通してチームビ ルディングを俯瞰するとは	 講義 ・演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日) ※対面	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケ アのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケ アに取り組むとは 2) レクリエーションゲームを通してチームビ ルディングを俯瞰するとは 3) お互いの専門性の語り合い・表現するとは	 講義 ・演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日) ※対面	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケアのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケアに取り組むとは 2) レクリエーションゲームを通してチームビルディングを俯瞰するとは 3) お互いの専門性の語り合い・表現するとは 4) 職場チームアクションプラン実践と評価	 講義 ・演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日) ※対面 (埼玉県立大学) <事前課題>	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケアのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケアに取り組むとは 2) レクリエーションゲームを通してチームビルディングを俯瞰するとは 3) お互いの専門性の語り合い・表現するとは 4) 職場チームアクションプラン実践と評価	 講義 ・演習
	第1回 6月18日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 第2回 7月2日(日) ※対面 (埼玉県立大学) <事前課題> 1.ワークシート	1) 職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2) 多職種連携とは及びチームビルディングの 理論の背景 3) チームビルディングに必要なヒューマンケアのマインドに基づく対話スキル 4) チーム及び組織の活性化 5) 職場チームの語り合い 1) 多職種チームの力を発揮してヒューマンケアに取り組むとは 2) レクリエーションゲームを通してチームビルディングを俯瞰するとは 3) お互いの専門性の語り合い・表現するとは 4) 職場チームアクションプラン実践と評価 5) わたしの職場のチームビルディング	 講義 ・演習

第2回に持参下さい。研修チームにて相互フィードバックすることを目的とします。

個別講座名	講座番号	2023-B		
担当教員		ファシリテータ研		
7月 8日 (土) (2日目) 9:30~16:30 (講義・演習:対面) 7月22日 (土) (3日目) 9:30~16:30 (実践演習:対面) 24時間 (6時間×3日間) *1時間=45分間 (実質の受講時間) +15分間 (自己学習) * 多様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて講義と演習を通して学ぶ ・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す 到達目標 (1) IPW におけるファシリテーションの意義を理解できる (2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ) を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容及び方法 ・オリエンテーション に適してファシリテーション実践の理解を深める。 「毎日家としての学び3つの基本原理・議論のノイズになる参加者への対応・・カッシリテーションにおける困難性・・IPW における15の障害 ・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要な後割・ファシリテーションにおける日の重要なります。・ジイアログとディスカッション・ファシリテーション間いのスキル・対話型ファシリテーション間いのスキル・対話型ファシリテーション 間いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 グルーブ演習及びリフレクション(個人、グルーブ演習及びリフレクション(個人、グルーブ演習及びリフレクション(個人、グルーブ演習及びリフレクション(個人、グルーブ)		〇小川孔美、國澤	- 尚子、柴田貴美子	
7月22日(土)(3日目)9:30~16:30 (実践演習:対面) 24 時間(6時間×3日間)	開講日時	6月24日(土)((1日目) 9:30~16:30 (講義・演習	 : 対面)
### 24 時間 (6 時間 × 3 日間) * 1 時間 = 4 5 分間 (実質の受講時間) + 1 5 分間 (自己学習) * 1 時間 = 4 5 分間 (実質の受講時間) + 1 5 分間 (自己学習) * 3 様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて講義と演習を通して学ぶ・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す (1) IPW におけるファシリテーションの意義を理解できる (2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ) を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容		7月 8日(土)((2日目) 9:30~16:30 (講義·演習)	:対面)
* 1 時間= 4 5 分間 (実質の受講時間) + 1 5 分間 (自己学習) ・多様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて講義と演習を通して学ぶ ・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す 到達目標 (1) IPW におけるファシリテーションの意義を理解できる (2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ)を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容 及び方法		7月22日(土)((3日目) 9:30~16:30 (実践演習:5	过面)
議義概要	総時間数	24 時間 (6 時間>	〈3日間)	
スキルについて講義と演習を通して学ぶ ・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す 到達目標		*1時間=45分間	間(実質の受講時間)+15分間(自己学習)	
・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの墓礎習得を目指す 到達目標	講義概要	・ 多様な意見や価値	直観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導く	(ファシリテーション
要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す 到達目標		スキルについて講	義と演習を通して学ぶ	
 到達目標 (1) IPW におけるファシリテーションの意義を理解できる (2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ) を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容及び方法 開講日 講義内容 は一次リエンテーション 第1回 6月24日(土)※対面 (埼玉県立大学) ・専門家としての学び3つの基本原理・議論のノイズになる参加者への対応・ファシリテーションにおける困難性・IPW における15の障害・ファシリテーションにおける6つの重要な役割・ファシリテーションにおける6つの重要な役割・ファシリテーションによる合意形成のステップ・ダイアログとディスカッション・ファシリテーションによる合意形成のステップ・ダイアログとディスカッション・ファシリテータコアスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル・対話型ファシリテータ実践 演習実践 グルーブ演習及びリフレクション(個人、グルーブ) 		• 多職種連携実践	における様々なミーティング、会議、検討会、請	
(2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ)を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容 及び方法 開講日		要とされるファシ	リテーションの基礎習得を目指す	
(3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ) を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容 及び方法 開講日	到達目標	(1) IPW におけ	るファシリテーションの意義を理解できる	
(4) 演習 (グループワーク&ロールプレイ)を通してファシリテーション実践の理解を深める。 講義内容及び方法 開講日 講義内容 講義方法 講義・演習 ・オリエンテーション総論 ・専門家としての学び3つの基本原理 ・議論のノイズになる参加者への対応 ・透論のノイズになる参加者への対応 ・ファシリテーションにおける困難性 ・IPWにおける15の障害 ・ファシリテーションにおける6つの重要な ・ファシリテーションにおける6つの重要な ・ファシリテーションにおける6つの重要な ・ファシリテーションにおける6つの重要な ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ・ダイアログとディスカッション ・グループシリテーション 問いのスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテーション でカージョン でカージョン でカージョン でカージョン でカージョン でカージョン でカージョン でカージョン でカージョン であるによりでは、「大きない」を通ります。 では、「大きない」を通ります。 では、「大きない」を述ります。 では、「大きない)を述ります。 では、「大きない)を述ります。 では、「大きない)を述ります。 では、「大きない)を述りまする。 では、「大きない)を述ります。 では、「大きない)を述ります。 では、「大きない)を述りまする。 では、「大きない)を述りまする。 では、「大きない)を述りまする。 では、「大きないるい。」を述りまする。 では、「大きないるいるないる。 では、「大きないるいるないるいるないる。 では、「大きないるいるないるないるないるないる。 では、「大きないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな		(2) ファシリテ	ータの役割について理解できる	
表示の名。 講義内容 講義方法		(3)効果的なフ	ァシリテーションスキルを確認する。	
講義内容		(4)演習(グル·	ープワーク&ロールプレイ)を通してファシリテ	ーション実践の理解
及び方法		を深める。		
第1回 ・ オリエンテーション 講義・演習 第1回 ・ ファシリテーション総論 ・ 専門家としての学び3つの基本原理 ・ 議論のノイズになる参加者への対応 ・ ファシリテーションにおける困難性 ・ IPW における15の障害 ・ ファシリテータ名論 ・ ファシリテーションにおける6つの重要な 第2回 7月8日(土) ・ ファシリテーションによる合意形成のステップ (埼玉県立大学) ・ ダイアログとディスカッション ・ ファシリテータコアスキル ・ 対話型ファシリテーション 問いのスキル ・ 対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ ファシリテータ実践 ア月22日(土) ※対面 グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)	講義内容		港 盖内容	港 議方は
第1回 ・ファシリテーション総論 6月24日(土) ・専門家としての学び3つの基本原理 ※対面 ・議論のノイズになる参加者への対応 ・ファシリテーションにおける困難性 ・IPW における 15 の障害 ・ファシリテータ名論 ・ファシリテーションにおける6つの重要な役割 ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ・グ割 ※対面 ・グイアログとディスカッション ・グイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル ・ファシリテータ実践 7月22日(土) グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)	及び方法	が毎日		
 ・専門家としての学び3つの基本原理 ・議論のノイズになる参加者への対応 ・ファシリテーションにおける困難性 ・IPW における15の障害 ・ファシリテータ各論 ・ファシリテーションにおける6つの重要な役割 ・ファシリテーションによる合意形成のステップ (埼玉県立大学) ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 ブループ演習及びリフレクション(個人、グループ演習及びリフレクション(個人、グループ) 		 筆1回		一件我一次日
※対面 (埼玉県立大学) ・議論のノイズになる参加者への対応 ・ファシリテーションにおける困難性 ・IPW における 15 の障害 ・ファシリテータ各論 ・ファシリテーションにおける6つの重要な 役割 7月8日(土) ※対面 (埼玉県立大学) 講義・演習 ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル ・ダボアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 7月22日(土) ※対面 ・ファシリテータ実践 グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)				
 (埼玉県立大学) ・ファシリテーションにおける困難性 ・IPW における 15 の障害 ・ファシリテータ各論 ・ファシリテーションにおける6つの重要な 役割 ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ※対面				
・IPW における 15 の障害 ・ファシリテータ各論 ・ファシリテーションにおける6つの重要な 役割 7月8日(土) ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ※対面 ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 演習実践 7月22日(土) グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)				
 ・ファシリテーションにおける6つの重要な 袋割 ・ファシリテーションによる合意形成のステ ※対面 ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 でカランリテータ実践 でカランリテータ実践 でループ演習及びリフレクション(個人、グ ※対面 			• IPW における 15 の障害	
第2回 役割 7月8日(土) ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ※対面 ・ダイアログとディスカッション・ファシリテータコアスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践			ファシリテータ各論	講義・演習
7月8日(土) ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ※対面 ・ダイアログとディスカッション・ファシリテータコアスキル・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践			・ファシリテーションにおける6つの重要な	
※対面 ップ (埼玉県立大学) ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 7月22日(土) グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)		第2回	役割	
(埼玉県立大学) ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 演習実践 7月22日(土) グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)		7月8日(土)	・ファシリテーションによる合意形成のステ	
 ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル 第3回 ・ファシリテータ実践 ブループ演習及びリフレクション(個人、グッカ面) ループ) 		※対面	ップ	
・対話型ファシリテーション 問いのスキル第3回・ファシリテータ実践演習実践7月22日(土)グループ演習及びリフレクション(個人、グ ループ)		(埼玉県立大学)	・ダイアログとディスカッション	
第3回 ・ファシリテータ実践 演習実践 7月22日(土) グループ演習及びリフレクション(個人、グ ※対面 ループ)			・ファシリテータコアスキル	
7月22日(土) グループ演習及びリフレクション(個人、グ ※対面 ループ)			対話型ファシリテーション 問いのスキル	
※対面		第3回	ファシリテータ実践	演習実践
		7月22日(土)	グループ演習及びリフレクション(個人、グ	
(埼玉県立大学)				i
		※対面	ループ)	

	1		
講座番号	2023—C		
個別講座名	IPW を促進する F	-SOAIP(エフソ・アイピー:生活支援記録法)	研修
担当教員		嶋 章吾(国際医療福祉大学大学院 特任教授) 等によりゲスト数名:3 回目	20目と30目
開講日時	1回目:7月22	日(土) 10:00~17:00	
. 55.5 — 5	2回目:8月27	日(日) 13:00~17:30	
	3回目:9月23	日(土・祝) 13:00~17:30 (ゲストはオン	ライン)
総時間数	20時間(6時間	×1日、4.5時間×2日)	
	*1時間=45分	間(実質の受講時間)+15分間(自己学習)	
講義概要	※3回とも講義お	よびワーク(個人・グループ)を実施する	
	• F-SOAIP の概要	要と特徴を学ぶ	
	・F-SOAIPによる	る IPW を理解する〜ミクロレベルの導入とメゾ・	マクロ展開~
	・先進例から導入	プロセスや効果を学び、IPW や DX を展望する	(講義・演習)
	※ゲスト:受講者	の目標や職種をふまえ、多機関多職種より依頼((オンライン参加)
到達目標	F-SOAIP の講義や	や書換えワークを通じ、IPW や諸課題解決に役立	て DX を展望できる
	ようにする。		
講義内容	 開講日	講義内容	講義方法
及び方法	170013	『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』	※F-SOAIPワー
		・F-SOAIP の概要(定義・DX 等の政策)	クシート【初回
	7月22日(土)	・PDCAサイクルにおける実施段階の経過	版】提出
	※対面	記録と IPW・諸課題との関連	////2 JC_
	(埼玉県立大学)	・IPW を可視化する F-SOAIP の理解	
		・F-SOAIP の書換:ⅠPWに役立つ場面	
		• 新たな挑戦を意味づけるリフレクション	
		『F-SOAIP による IPW を理解する~ミクロ	※8/20までに
		レベルの導入とメゾ・マクロ展開~』	F-SOAIPワーク
		・第1回リフレクションや課題等を共有	シート【導入版】
	8月27日(日)	・講義(質問対応と F-SOAIP の応用版(カン	と質問を提出
	※対面	ファレンスや事例検討、LIFE のフィードバッ	
	(埼玉県立大学)	ク活用、データ分析、OJT、BCP等)、特徴的	
		場面(苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、	
		認知症 BPSD、看取り等)	
		・ I PWに着目したリフレクション	
		『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW	※9/16まで
	 9月23日	や DX を展望する』	に F-SOAIP ワ
	9月23日 (土・祝)	・第2回リフレクションや課題等を共有	ークシート
	(工・杭) ※対面	◆ゲスト数名による実践報告・交流	【OJT 版】と質
	※刈面 (埼玉県立大学)	※ゲストは遠隔オンラインか録画	問を提出
		IPW実践の計画シート・共有	
		IPWの好循環に向けたリフレクション	
事前学習	受講前に F-SOAII	PのHP(<u>https://seikatsu.care/</u>)をご確認く	ださい

講座番号	2023—D	
個別講座名	多職種チームによる	る実践事例研修
担当教員	〇井上和久、國澤	尚子、善生まり子、山本英子、久保田章仁、押野修司、柴田貴美子、
3	佐藤玲子	
開講日時	1回目:2023年	10月 1日(日) 10:00~17:00
	2回目:2023年	10月22日(日) 10:00~17:00
	3回目:2023年	11月12日(日) 10:00~17:00
総時間数	24 時間 (6 時間)	〈3日間)
	*1時間=45分	間(実質の受講時間)+15分間(自己学習)
講義概要	受講者が経験した	た自施設の事例についてチームで検討し、連携における課題の明確化、
	解決策の模索など	を行います。この検討プロセスを通して、チームでのディスカッショ
	ンを体験します。	また、チームで検討した内容およびプロセスを発表し合い、多職種チ
	ームによる実践事	列課題の理解を深めます。
	受講者 5 名毎に	1 グループを編成し、各受講者の事例(5 事例)について、多職種の
	課題を明確化し、	課題解決策について検討し発表資料を作成します。
	1. 各受講者の連携	島における課題の明確化 2. 課題解決策の検討
	3. プレゼン資料の	D作成 4. 発表 5. リフレクション
到達目標	受講者全員が自施	段における事例について、課題解決策を身に付ける。
	1. 多職種チームの	D課題の明確化 2. 課題の解決策を検討できる
	3. 検討した課題に	こついて発表資料作成ができる
講義内容		
神我四台	四業 口	護美内突
及び方法	開講日	講義内容 1 IPWの基礎(講義)
	開講日	講義内容 1. IPW の基礎(講義) 2. IPW におけるリフレクション(講義)
	開講日 10月1日(日)	 IPW の基礎(講義) IPW におけるリフレクション(講義) オリエンテーション
		 IPW の基礎(講義) IPW におけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク
	10月1日(日)	 IPW の基礎(講義) IPW におけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義)
	10月1日(日) ※対面	 IPW の基礎(講義) IPW におけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク
	10月1日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション
	10月1日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2)
	10月1日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2)
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日)	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション ブレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション ブレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション ブループ発表
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面	1. IPW の基礎(講義) 2. IPW におけるリフレクション(講義) 3. オリエンテーション 4. アイスブレイク 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 事例について検討(1) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 1. 事例について検討(2) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討(3) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表 1. 事例について検討(4) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション グループ発表 事例について検討(4) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(4) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(5)
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 11月12日(日)	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション ずループ発表 事例について検討(4) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(5) 事例について検討(5) 連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 11月12日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション がループ発表 事例について検討(4) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(4) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(5) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討
	10月1日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 10月22日(日) ※対面 (埼玉県立大学) 11月12日(日) ※対面	 IPWの基礎(講義) IPWにおけるリフレクション(講義) オリエンテーション アイスブレイク コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 事例について検討(1) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(2) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(3) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 5 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション 事例について検討(5) 1)連携における課題の明確化 2)課題解決策の検討 3)プレゼン資料の作成・発表 4)リフレクション

講座番号	2023—E		
個別講座名	多職種チームによ	る実地実習(専門職連携実習:IPW 実習)	
担当教員	〇田口孝行、〇丸	山優、岡田茂治、押野修司、髙橋恵子、山岸直子	大吉村基宜、保科寧
	子、柴﨑智美(埼玉	医大)、酒本隆敬(特別養護老人ホーム杏樹苑爽原	虱館)、内海巨史(介
	護老人保健施設ビ	ッラ・ベッキア)	
開講日時	10月28日(土)	9:00~16:00(講座:遠隔オンライン)	
	11月11日(土)	9:00~16:00 (実地実習:遠隔オンライン))
	11月25日(土)	9:00~16:00 (発表会、リフレクション:	対面)
総時間数	24 時間(6 時間)	<3日間)	
	*1時間=45分	間(実質の受講時間)+15分間(自己学習)	
講座概要	実地実習(実際の	の利用者様の協力)を通して、利用者中心の統合	されたケアを創造す
	るための「利用者	·集団·地域の問題解決プロセス」、「チーム形成ブ	『ロセス」、「地域連携
	プロセス」に意図	的に目を向け、専門職連携(IPW)の課題やあり	方を考える。また、
	各所属施設でのよ	り良い IPW に向けた課題や解決策についても考え	える。
到達目標	(1)利用者·集団·地	対の理解と課題解決の実践方法を意図的に確認す	する
	(2)チームメンバー	-の専門性と多様性を相互理解する態度を意図的に	こ確認する
	(3)チーム形成プロ	1セスと協働の実践方法を意図的に確認する	
	(4)組織や機関問・	地域連携プロセスの実践方法を意図的に確認する	
			,
		-ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション	
講義内容			
講義内容 及び方法	(5)自己課題、チー	-ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション	ンができる
	(5)自己課題、チー	-ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容	ンができる 講座方法
	(5)自己課題、チー開講日	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について	ンができる 講座方法 講義
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動	ンができる 講座方法 講義 講義
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土)	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法	ンができる 講座方法 講義 講義 講義
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介)	ンができる 講座方法 講義 講義 が N-プ ワ-ク
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備	ンができる 講座方法 講義 講義 講義 グ ル-プ ワ-ク グ ル-プ ワ-ク
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回 11月11日(土)	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力)	ンができる 講座方法 講義 講義 講義 グ ル-プ ワ-ク グ ル-プ ワ-ク
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力) ・情報収集・ディスカッション・情報共有	ンができる 講座方法 講義 講義 講義 グ ル-プ ワ-ク グ ル-プ ワ-ク
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回 11月11日(土)	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力) ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画(案)の検討	ンができる 講座方法 講義 講義 講義 グ ル-プ ワ-ク グ ル-プ ワ-ク
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回 11月11日(土) ※オンライン	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力) ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画(案)の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理	は 講座方法 講義 講義 講義 が ループ・ワーク グ ループ・ワーク 実地実習
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回 11月11日(土) ※オンライン 第3回	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力) ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画(案)の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理 7) チーム発表とディスカッション 8) リフレクション	ンができる 講座方法 講義 講義 が ループ・ワーク グ・ループ・ワーク 実地実習
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回 11月11日(土) ※オンライン 第3回 11月25日(土)	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力) ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画(案)の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理 7) チーム発表とディスカッション 8) リフレクション ・自己の課題、チームの課題、専門職としての	ンができる 講座方法 講義 講義 が ループ・ワーク グ・ループ・ワーク 実地実習
	(5)自己課題、チー 開講日 第1回 10月28日(土) ※オンライン 第2回 11月11日(土) ※オンライン 第3回 11月25日(土) ※対面(埼玉県	- ム課題、地域連携課題等を見出すリフレクション 講座内容 1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る(自己紹介) 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備 6) IPW 実習(2 施設の協力) ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画(案)の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理 7) チーム発表とディスカッション 8) リフレクション ・自己の課題、チームの課題、専門職としての	ンができる 講座方法 講義 講義 が ループ・ワーク グ・ループ・ワーク 実地実習

「専門職連携を学ぶ講座」に関するお問い合わせ

埼玉県立大学 地域産学連携センター

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

TEL: 048-973-4114 FAX: 048-973-4807

e-mail: edec@spu.ac.jp

ホームページ: http://www.spu.ac.jp